



たんぽぽ組だより 12月号

令和5年12月20日 ことり保育園 担当:鈴木(愛)

日に日に寒さは厳しくなっていますが、冷たい風のなか、元気に遊ぶ子ども達の姿にたくましさを感じます。

ワクワクが詰まった12月。楽しみにしているおゆうぎ会やクリスマスももう間近です。11月後半から練習してきたおゆうぎですが、保育者がお手本を見せなくてもお手のもの。午睡明けの目覚めに曲を流すと、振り付けをしっかりと覚えていて練習する子もいれば、曲のイメージに合わせて、オリジナルダンスを披露する子とさまざまな姿が見られます。またふとした遊びの中で、おゆうぎの曲を口ずさんでいる姿も...。おゆうぎ発表会を通して、音楽に親しみ表現する楽しさを味わって欲しいなと思っています。

また本番は、お客さんを目の前に緊張した表情も見られるかと思いますが、子ども達が楽しく踊れるようたくさんの温かい拍手をお願いします。



さて先日、すみれ組、ひまわり組のお兄さんお姉さんたちと製作をしました。小さな透明カップを長く繋ぎ合わせ、それぞれのカップの中に、緑色の花紙を詰めます。「花紙を丸めてね」「空いているカップを探してね」という、保育者の声をよく聞いて、「みてー出来た!」と小さく丸めた花紙を見せたり、まだ花紙が入ってなく、緑色になっていない容器を見つけると、「空いてる!」と嬉しそうに声をあげながら取り組んでいましたよ。何本も用意して放射線状に飾ると手作りクリスマスツリーの完成です。完成したツリーはひまわり組前のテラスに飾ってあるのでぜひ本園にいらした際には、ご覧ください。今後も製作を通して、季節の移り変わりを感じたり、豊かな感性を育んでいきたいです。



たんぽぽ組になって9ヶ月が過ぎました。運動会や保育参観などたくさんの行事や経験を通して、より一層たくましく成長した子どもたち。1人で出来ることも増えました。年末やお正月、ご家族で過ごしなが、子どもたちの成長を褒めてあげてください。

またご協力をいただきました
保護者のみなさまにも感謝いたします。

